

## 愛臨技学術部研究班活動報告書

所属：一般検査研究班 提出日：令和 3年 12月 17日 報告者：長嶋 和子

行事種別	講演会	行事番号	210010329	
開催日	令和 3年 12月 11日 (土)			
時間	開始	15時00分	終了	17時00分
場所	ライブ配信			
テーマ	腎炎とは？そして驚きの新たなる治療法			
生涯教育履修点数	専門教科 20点			
司会	藤田医科大学病院 長嶋 和子			
講師	<p>1.これを聞けば腎炎が分かる！～検査技師が教える腎炎の基本～                  日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 野村 勇介</p> <p>2.腎炎における幹細胞移植治療                  名古屋大学大学院医学系研究科 病態内科学講座腎臓内科学 丸山 彰一 教授</p>			
内容	<p>腎臓病の中で腎炎は最も多い疾患のひとつです。しかしその分類は難解で、しっかりと理解している人は少ないと感じていました。そのため腎炎について一度は研究会を開催したいと考え、本研究会を開催しました。</p> <p>講演 1.では腎炎についての基本講演を行いました。腎炎の分類が難解と言われる所以をまず説明し、その後「病変部」「原因」「経過」に分け、分類解説を行いました。腎炎の最終的診断には組織診断が欠かせませんが、一般検査に携わる技師にはあまり馴染みがないため、腎生検、組織診断についても用語解説を含め基本から解説を行いました。アンケート結果では「腎炎を理解する上で丁寧で分かりやすかった」「考え方が分かった」と、参加者の方の理解を深めることができたと思われ、難しい分野に切り込んだ甲斐を感じました。</p> <p>講演 2.では脂肪由来幹細胞を使用した最新の腎炎治療について講演を行いました。検査技師は通常検査結果を出すことに注力しており、治療について学ぶ機会はほとんどありません。最新的话题を提供し、最新医療に興味を持って頂くことを目的としました。アンケート結果では「やや難しかった」「難しかった」との回答が46.9%と多くありましたが、一般検査研究班では基本をベースにしつつ、時折は最新の知見についても情報提供をしていきたいと考えます。</p>			
参加者	総数：97名（会員 66名、県外会員 30名、非会員 1名、賛助会員 0名、学生 0名、その他 0名）			
共催、後援など	なし			